



2024年1月10日
 聖心女子学院初等科
 校長 大山 江理子
 1月号

いつでも神様は共にいてくださる

・・・希望をもつ

校長 Sr. 大山 江理子

新年おめでとうございます。ご家族の皆様にとり実り豊かな年となりますようお祈りいたします。同時に、1月1日の能登半島の地震により被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

1月2日には羽田空港での航空機事故もあり、思いがけない年の始まりとなりました。日々の恵みを心からお祈りします。

多くの児童・保護者の皆様からクリスマスカードや年賀状をいただきました。ありがとうございました。うれしく読ませていただきました。今年は辰年にあたり、「辰たつ」にちなんだ言葉も子どもたちからたくさんもらいました。たとえば、「たち止まらない、つかれてもあきらめない」、「達成」など元気の良いものや、「楽しく」もあり、「つ」では、「積み上げる」「つどい」「つながり」もありました。「岐路にたつ。私は平和を選びたい」「誰かの役にたつ」の二つは心に残ります。このような子どもたちの言葉を受けて、「たしかな力でつながる」として今年は進みたいと考えてみました。

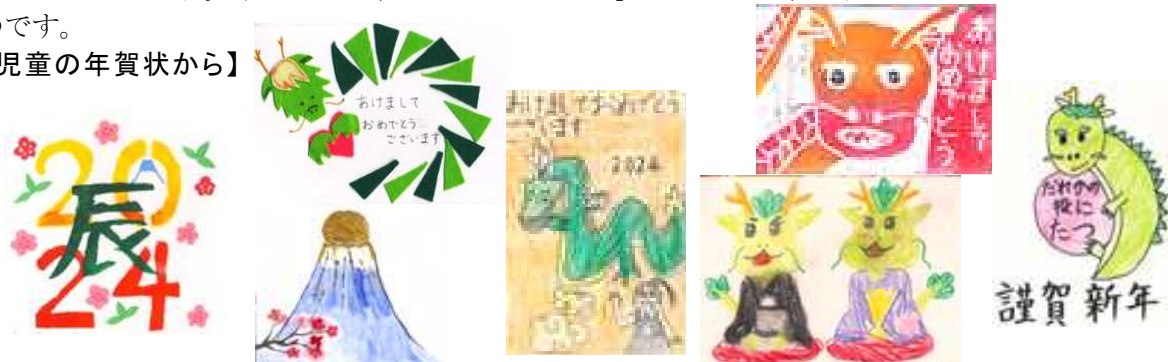
世界の情勢は、平和が切実に望まれながらも見通しの立ちにくさを感じられます。これまでの枠組みでは解決できないかもしれません。そして自然災害は人間の暦に関わりなく生じます。このような中でも子どもたちには未来に夢をもってもらいたいと切に願います。

どのように子どもたちにそれを伝えればよいでしょうか。

12月にウィッシングでお祝いしたイエスの誕生は、その時だけのことではありません。誕生されたイエスは私たちの心の中で成長を続けています。いつも共にいてくださる方です。私たちの現実の生活には、思い通りにならないこと、願い通りでないことがたくさん生じます。今回の地震災害も元旦のことでした。初詣をして今年の安寧を祈られた方が多くいらしたことでしょう。それでは、祈りは空しいものなののでしょうか。そんなことはないはずです。いつ、何が起こるかかわからないと感じられるかのように、世界は私たちの思いを越えて動いています。だからこそ、私たちは神様に共にいてくださいと祈り、生きる力をいただきます。神さまはいつも共にいて、私たちの祈りを聴いていてくださいます。

私たちにできることは心を込めて自分の力を尽くすこと。小さくても、自分で生きることがきっと大事です。深い悲しみや苦しみ、弱さや無力さを感じることもあっても、それでもやはり、「ありがとう」や「よかった」「一緒にやりましょう」などの言葉に私たちは励まされます。そのようなところに希望を聴き取ることができます。神様が共にいてくださるところです。イエスが小さな赤ちゃんとして生まれてくださったように、小さな弱いところからいのちが育ちます。私たちがそこに希望を聴き取り、子どもたちと夢を育てていけますように、皆様と共に祈りながら新しい年を進めたいと思います。確かな力で、「私から私たちへ」とつながり、神様へとつながっていききたいものです。

【児童の年賀状から】



結果と課程 どちらにも意味がある

副校長 中塩 百合

新たな年を迎え、今年こそは争いのない平和で穏やかな年になるよう祈りを捧げていたところ、悲しいニュースが飛び込み心が傷む年の始まりとなりました。ご親族、お知り合いの方々をご心配なさっているご家庭もあることと存じます。このような時だからこそ、希望の光を失うことなく、悲しみの中にいらっしゃる方々に光を届けられるよう皆で祈りたいと思います。

さて、12月号ではクリスマス・ウィッシングに向けて子どもたちが頑張って取り組んでいる姿をお伝えしました。当日は、ご来賓と保護者の方をお迎えし温かい雰囲気の中、初等科生627名の歌声がホールいっぱいに響き渡り、久し振りに心が震える体験をしました。「イエス様のご降誕をお祝いする」という気持ちが皆をひとつにし、コロナ前とはまた違った新しい形のクリスマス・ウィッシングを創り上げることができました。その中心には、自分の役割に責任を持って取り組み下級生を導く6年生の姿がありました。一つのことを成し遂げた充足感を味わいつつ、「一人ひとりが大事な役目を担っている」「一人でも欠けたらよい物は創り上げられない」ことを実感したようです。

行事を通して成長する子どもたちの姿は、学校教育が大事にするところです。次は2月に行う学習発表会です。1年間の学習の集大成として、各学年が様々な取り組みをしています。「みこころ」の時間を中心とした学年展示、個性溢れる図工の展示、そして5年生の英語発表と各学年の音楽の発表ですが、ウィッシング同様それぞれが新しい形を模索しています。保護者の皆様には、完成したものをご覧いただきますが、その過程には新たな発見や物事を深く追究する面白さ、また苦労や努力、協働や認め合いがあることを想像しながら参観していただきたく思います。学びは、机の前に座っているだけのものではありません。表現方法もひとつではありません。頭と心と身体のすべてを使って、学んだことを発表いたします。

学習発表会を含めて、これからの2ヶ月半は、次の学年へのステップとなります。一人ひとり、そしてクラスや学年という集団が、1年間の自分たちの心身の成長を意識して次の学年へのより強固な土台づくりをする時期です。自ら歩く子どもたちを支え見守りたいと思います。



防寒について

1月に入り寒さも厳しくなってきました。セーター、タイツの着用やインナーの重ね着(校内ではトレーニングウェアの上着の着用)など、お子様のご様子に合わせて工夫をなさってください。また、カイロを使用する場合は、連絡簿にてお届けください。(ただし、インナーへの貼付に限ります。手持ちでの使用はご遠慮ください。) 今後どうぞ体調に留意してお過ごしください。

1月～2月上旬の行事

1月10日(水)	新年の祈り・臨時身体測定	2月2日(金)	学習発表会児童観覧日
13日(土)	5年転入・編入試験	3日(土)	学習発表会
15日(月)	1年・転入・編入保護者会	4日(日)	学習発表会予備日
16日(火)	5年まどめのテスト②	5日(月)	学習発表会代休日
17日(水)	百人一首大会(2nd)	6日(火)	6年カトリック音楽会
24日(水)	泉の会代表幹事会	7日(水)	2年保護者会
26日(金)	学習発表会総練習 中等科入学手続き(6年)	8日(木)	4年まどめのテスト(1・2限) 私学半日研修(3限まで授業)
30日(火)	4年英検Jr.(4限)	9日(金)	3年保護者会